

事務事業名 筑紫野市青少年指導員会補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：612

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-11-00
基本事業：	04	環境浄化活動の推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	少年の検挙・補導人数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市青少年指導員会			<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年指導員の知識、技能の向上を図るとともに、指導員相互及び各校区間の連携を緊密にし、少年補導員会等の関係団体との協力体制を確立し、もって青少年の健全育成及び非行防止活動を効果的に推進する。</li> <li>・平成24年度より、各小学校区に5人以内の配置。</li> <li>・11小学校区で、総数55人。（任期1年：4/1～翌年3/31）</li> <li>（令和3年5月現在で、54人委嘱済み。残り1人は検討中）</li> </ul>							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
青少年指導員の自主的活動を支援する。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標	
教育講演会の出席者数		人	112	0	130	130			130	
巡回数		回	574	479	550	550			550	
5. コスト										
事業費		計	千円	90	0	90	90			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般		千円	90	0	90	90				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費		千円	807	803	792					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	897	803	882	90				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	青少年指導員会の会議（幹事会）が有効に行われたことで、各校区間で連絡事項や活動について情報共有がスムーズになされ、青少年活動を見守る体制に繋がった。									
どちらかといえばあがっている	教育講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止と判断された。									
あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	平成26年に、活動報告書の様式を分析・検討しやすい内容に変更した。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、活動自粛が続いたため、自主財源での活動となり、補助金申請が行われなかった。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
青少年の健全育成、非行防止には、巡回活動をはじめ青少年指導員会の活動が重要であり、引き続き支援を続けていく。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
平成4年7月、「青少年を非行から守る全国強調月間」に併せて発足し、小学校区を中心に、青少年の健全育成に関する育成事業の推進、各種指導者との連携を図る等、青少年活動の指導を目的とする。他の青少年健全育成団体、防犯団体及びPTAとの連携が求められている。										